

土浦駅周辺における放置自転車に関する研究

A Study on Illegally Parked Bicycle Around Tsuchiura Station

市村卓司 (博士後期課程地球環境科学専攻)

ICHIMURA Takuji (Master's Program in Geosciences)

(1) 研究目的

本研究は JR 土浦駅西口の自転車等放置禁止区域を対象に、休日、平日の 2 時点の放置自転車の分布を調査することにより、放置自転車の分布とその特性を明らかにすることを目的とする。

(2) 調査方法

Garmin 社製ハンディーGPS で自転車一台ずつのポイントデータを取得した。調査は休日、平日ともに 11 時から 16 時に行った。調査対象は、自転車・オートバイを含めた二輪車とし、さらにその中で飲食店等の商用車と一般車両を分類する。さらに、土浦駅西口の放置自転車禁止区域における自転車・オートバイの分布を Spatial Analyst のカーネル密度測定で分析し、集中傾向を明らかにし、休日と平日で比較した。

(3) 調査結果

放置自転車・オートバイの総数は 1 月 25 日 (日曜日) が 320 台、1 月 26 日 (月曜日) が 220 台であり、休日のほうが多かった。自転車の集中度傾向が高い地点は、駅前、国道 125 号線沿いの商店街、モール 505 周辺の商業施設の店舗前である。これらの主な業種は映画館、パチンコ・カラオケボックスなどの娯楽施設、子どもを対象とした玩具店・学習塾などであり、駐輪地点と商業施設への近接性は自転車の分布に大きく影響していることが分かる。

このような放置自転車の分布から、自転車所有者の目的は駅の利用というよりも、駅周辺の商業施設への利用であるため、一時的駐輪が多いことが推測される。

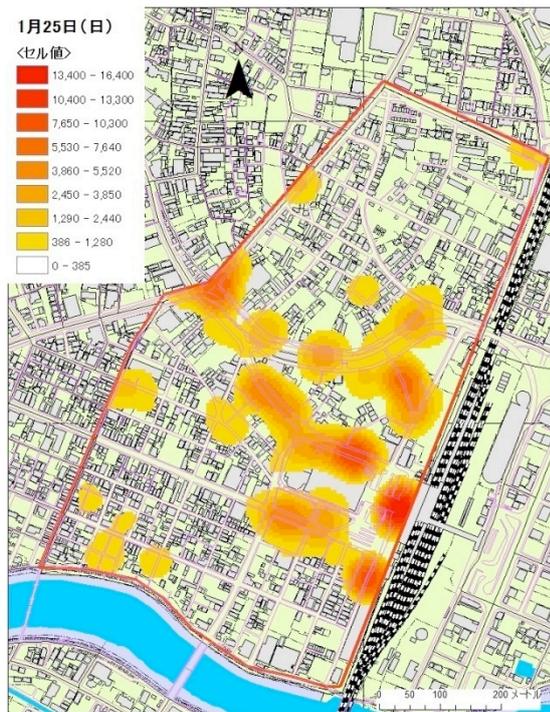


図1. 土浦駅西口周辺における自転車・オートバイの分布密度[1月25日(日)]注:データ補正後

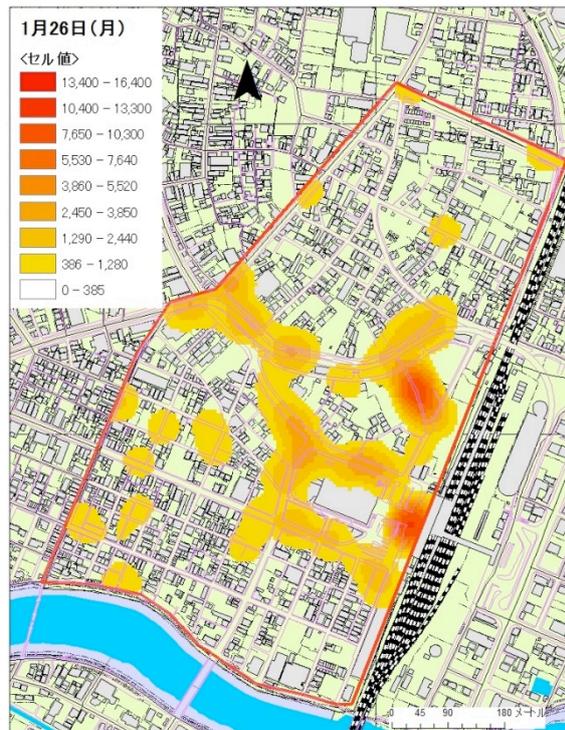


図2. 土浦駅西口周辺における自転車・オートバイの分布密度[1月26日(月)]注:データ補正後